

事業委員会だより

■ 「事業創出」と「職域班活動」の現状報告

職域班担当理事 羽場三喜男

事業委員会としては事業創出、各種職域班、地域班、各種講習会等、新規の入会説明会と、環境面では堆肥化推進までを3名の理事で担当を受け持ち取り組んでおります。その中で私の担当する委員会のご報告をさせていただきます。

【事業創出】

事業拡大に関し今季は国の政策として「生涯現役活躍応援事業」としての地域人づくり事業に参加をし、専属就業開拓職員を配属しその推進に積極的に取り組みました。各理事も協力して主たる客先訪問を実施して営業力を高めてまいりました。

今季の契約件数、受注金額ともに前年を上回る数字が残せたのは、こういった努力とそして役員、職員、会員の皆様のご協力により残せた実績と皆様に感謝申し上げます。

事業を拡大していく為には当然人材確保が必要になってくるのは言うまでもありません。しかし最近、病気や高齢化が原因で会員数が減少しその影響により就業比率が上がっているという現象が見られます。出来る人に仕事が集中してきているということであり、事業を拡大するにあたって特定の人に荷重がかか

るのは問題であり、やはり会員の人材確保が今後とも重要になってきます。

【職域班活動】

当センター全体の事業契約金額のウエートの高いのは、清掃、草刈り、草引き、剪定等が上げられるわけですが、共通しての問題は出来る会員（あてはまる会員）が少ないという事があります。これは先ほどの会員数の不足があります。草刈り、剪定の共通問題点はどうしても季節的集中依頼になる、会員数の不足もありますが現在班単位で活動していますので、どうしても集中して人員不足の場合はオールメンバーで協力し合い協力して乗り越えるという事もしているが、極端に集中しても体力的に問題が残ったりやはり、好ましい状況ではないが、なんとか頑張っているという感じです。又、極端に忙しくなりすぎると、職員と会員、会員同士の関係でさまざまな問題に発展してしまう懸念があるので、少なくとも職員と会員との意思疎通の場をもう少し増やしていきたいと思っております。シルバーの基本理念である「自主、自立、共働、共助」の言葉の中の共働、共助という意味を言葉だけでなく、自身にあてはめて見て頑張りたいものです。

■ 平成26年度地域懇談会を実施

平成26年12月2日（火）～12月11日（木）の5日間、5小学校区のもよりの集会所等で地域懇談会を開催しました。参加会員数75人、役員・事務局を入れると延べ106人の参加となりました。

懇談内容は、センターの現状及び適正就業基準運用方法についてで、平成24年度から施行された適正就業基準について運用方法の説明を行い、3年連続の説明となり、基準内容が周知されたと思われま

す。昨年度に続き出張シルバーサロンを併設し嗜好品の提供を行うと共に、懇談後ふるさと案内DVDの上映や町健康推進課による健康体操指導を実施し、好評を博しました。

校区別内訳

山田荘小学校区	12月2日（火）	桜が丘二丁目集会所	参加者数27人
東光小学校区	12月4日（木）	精華町コミュニティーホール	参加者数21人
精華台小学校区	12月5日（金）	かしのき苑	参加者数15人
精北小学校区	12月9日（火）	滝ノ鼻集会所	参加者数19人
川西小学校区	12月11日（木）	当センター多目的室	参加者数24人



山田荘小学校区懇談会



東光小学校区懇談会



精華台小学校区懇談会



精北小学校区懇談会



川西小学校区懇談会